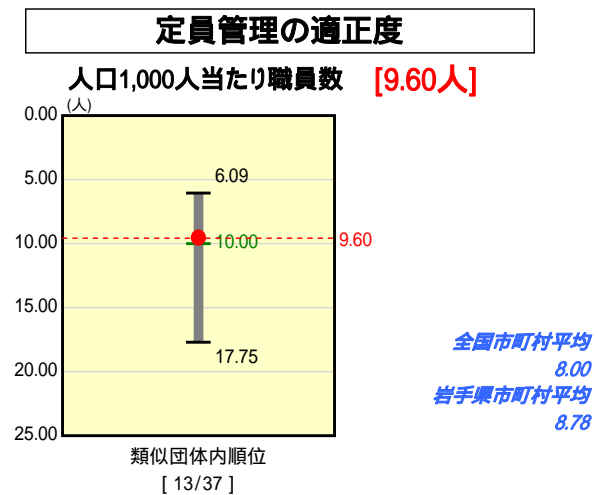
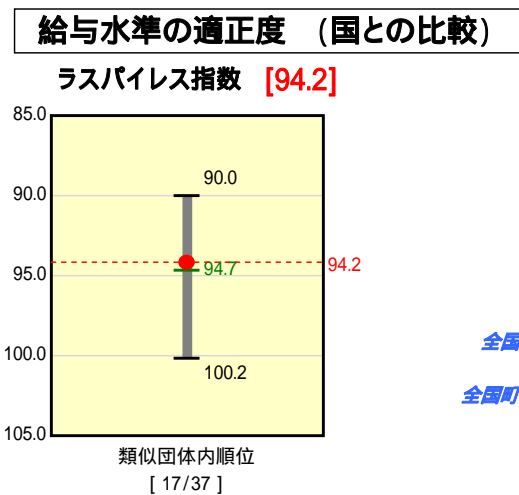
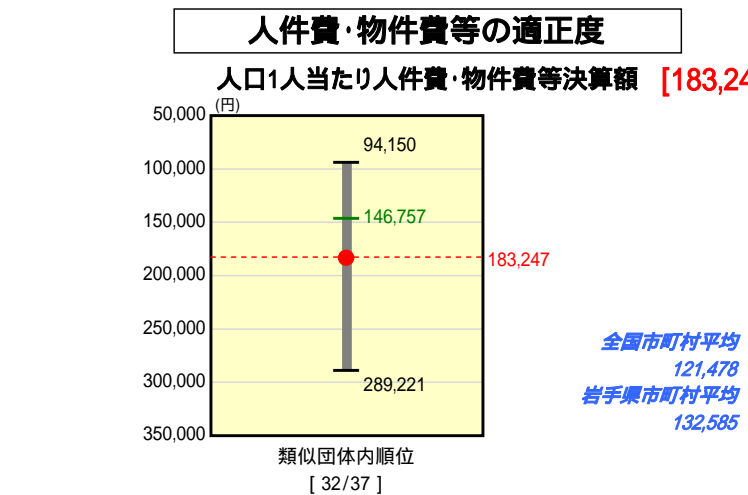
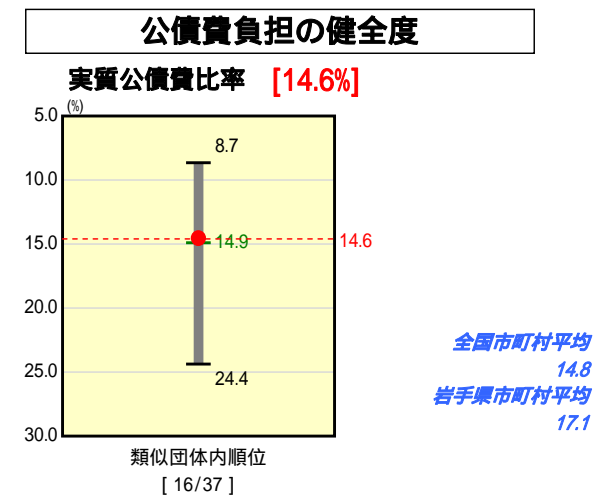
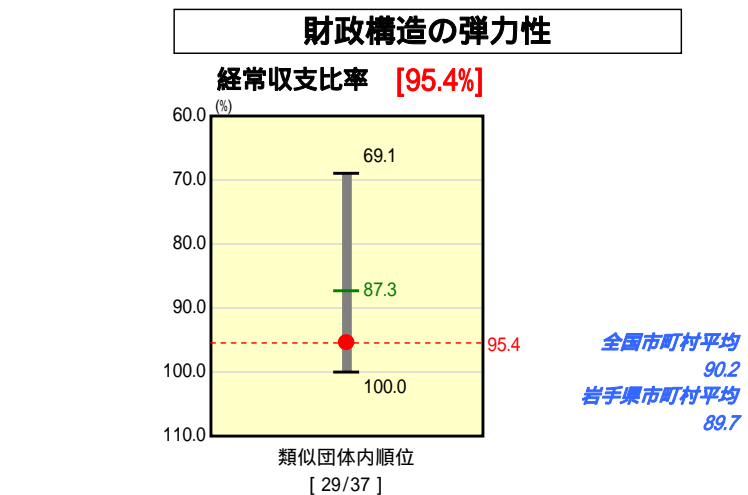
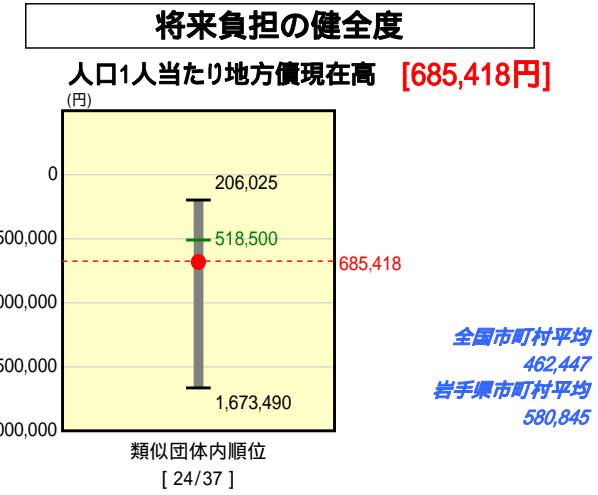
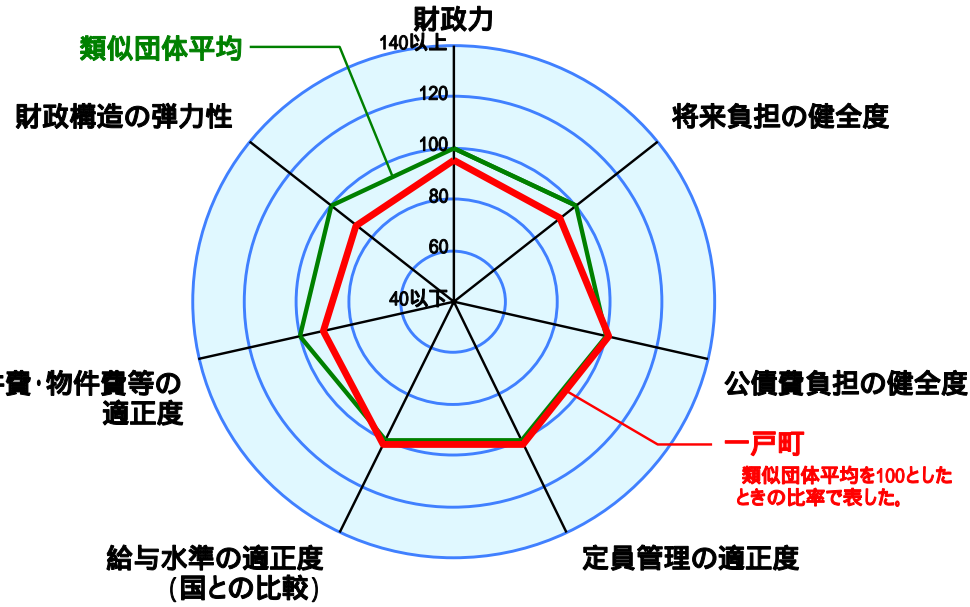
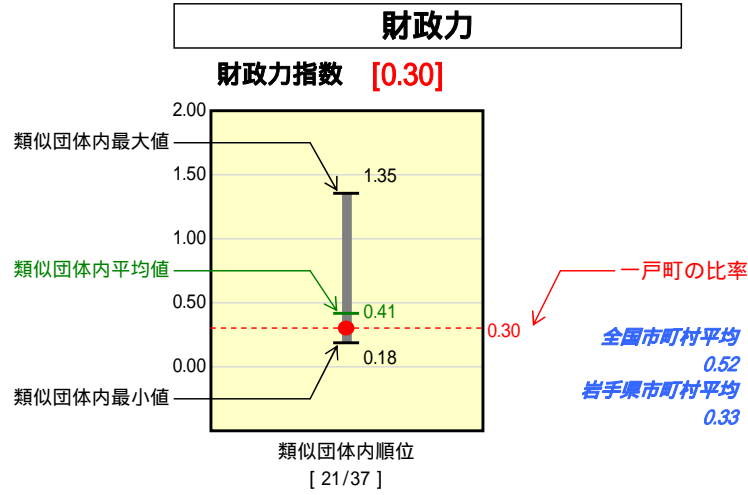


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岩手県 一戸町

人口	15,731	人(H18.3.31現在)
面積	300.11	km ²
歳入総額	7,798,143	千円
歳出総額	7,571,371	千円
実質収支	214,188	千円



分析欄

財政力指数

平成14年度より、連続した伸びをみせているものの(0.267、0.284、0.297)、類似団体と比較すると平成17年度で0.11ポイント下回っている。要因としては、基準財政需要額、特に公債費が多額であることがあげられる。今後は、投資的経費の抑制により地方債の新規発行の抑制に努める(H23年度までに投資的経費7%、新規発行額30%)。一方、基準財政収入額は、類似団体並みであるものの、個人税・法人税の減収が引き続き見込まれるため、地方税の徴収率向上に努める(H16実績:90%、目標値:92%)。

経常収支比率

平成14年度以降、90%を超える高い比率で推移している。類似団体平均を上回る要因は、公債費及び物件費への充当一般財源が多いことである。公債費については、今後の新規発行の抑制に努める。また、物件費については、各種施設の管理運営に係るものが多額であり、指定管理者制度等の導入をさらにすすめ、削減に努める。

実質公債費比率

類似団体平均とほぼ同じ水準である。元利償還金については、年々減少傾向にあるが、今後においても、中長期的な地方債発行の見直しを行い、改善に努める。

人口1人当たり地方債現在高

類似団体平均の約1.3倍の高い水準となっている。各種整備に対する地方債発行額が多額であったことが要因である(例 H13御所野遺跡史跡公園整備事業:総事業費7.2億円のうち町債3.9億円)。地方債現在高については、新規発行を控えてきたこともあり年々減少傾向にあるが、今後においても、中長期的な地方債発行の見直し(H22以降新規発行額を5億円以内に抑える等)を行い、改善に努める。

ラスパイレス指数

類似団体平均を下回っている。給与構造の抜本的な見直しである平成17年度の人事院勧告の内容に沿った改正をしているため、給与水準については、国及び県に準じた内容となっている(H17 H18当初予算 38,149千円)。今後も引き続き給与の適正化に努める。

人口1人当たり職員数

類似団体平均とほぼ同じ水準であるが、定員適正化計画に基づき適正化に努める。適正化計画の内容は、平成18年度～平成22年度の間に、退職者不補充や業務の見直しによる民間委託の推進等により、職員数を35人(19.4%)削減するものである。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

類似団体平均の約1.2倍の高い水準となっている。物件費については、各種施設の管理運営に係るものが多額であり、指定管理者制度等の導入をさらにすすめ、削減に努める。